

従業員主導で新たな取組の実現へ

企業データ	本社・拠点	奈良県奈良市藪生町530-3
	業種	弁・同附属品製造業 / 油圧・空圧機器製造業
	従業員数	従業員 : 29名 (男性 : 24名 女性 : 5名)
	資本金	2,000万円
	事業概要	気体・粉体の制御装置メーカー

テレワークの導入により
ペーパーレス化や
従業員の成長に
繋がりました！



テレワークをきっかけにペーパーレス化の推進

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として、緊急事態宣言前の2020年4月より、在宅勤務可能な営業・経理・設計等の職種でテレワークの導入を開始し、現在でも原則週1回の出勤とする体制を継続しています。それに伴い、

社内サーバーのみならず、外部サーバー上でのデータの共有や、グループウェアの活用を開始し、原則、紙による回覧や共有を廃止しました。

その結果、ペーパーレス化につながり、これまでメイン業務を滞らせていた押印業務が無くなったほか、回覧時の紛失も無くなるなどの効率化を実現しました。

壁 外部のサーバーを利用することで効率化の実現へ

社内サーバーでは、アクセスが集中すると回線がパンクしてしまう懸念があった。
⇒外部サーバーを活用することで、回線アクセス遅延が避けられ効率化が図ることができた。

従業員の意見を尊重した取組

新型コロナウイルス感染症拡大以前より、ペーパーレス化を進める考えはありました。これまでは、社内システムから紙ベースで資料を打ち出して回覧・共有を行っており、非効率や紙の無駄を感じていました。また、その他の働き方についても検討する意識はあったが、日々の業務に追われ、取り組みの実現には至っていませんでした。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、柔軟な働き方の導入が必要となり、まずは新しいことに取り組んでみるという姿勢が重要と考えました。また、得意先が大手主体であり、顧客サイドでもテレワークを推奨していたため、導入への理解が得られやすい環境でもありました。

テレワークを進めるにあたっての考えや実務の流れを従業員に検討・推進してもらった結果、現場の意見を組み込み、スムーズな流れが構築できました。さらに、従業員が主体となって創意工夫したことで各々の成長にもつながりました。テレワーク実施の副次的効果として、従業員の交通費や、出張費用などが減少し、コスト削減にも繋がりました。

社員からの声

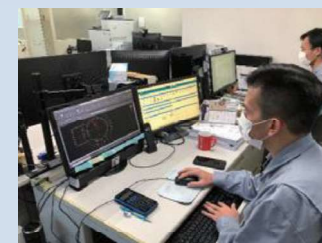
～ テレワークを実施したうえでのメリット・デメリット ～

メリット

- ◆通勤が無くなったことで、自分の時間が増えた
- ◆問い合わせ対応が減り、集中して作業を行えた
- ◆不要な仕事をなくす意識が高まった

デメリット

- ◆仕事に絡む情報の共有や簡単なアドバイスが行いにくい
- ◆他のメンバーの仕事状況や考えが把握しづらい（管理職）



今後は海外も視野にいれた取組へ

同社では、設計技術者の人手不足が深刻となる中、最近ではベトナム人などの外国人労働者も積極的に活用しています。今後も継続して働き方改革を行い、このような労働者が母国に帰った際にも、オンラインで仕事を継続して行っていく海外版のサテライトオフィスのような仕組みづくりを進めたいと考えています。

一方で、今後もテレワークを推進するためには、機器類の導入に対する新たな設備投資も必要であると考えています。外部サーバーの活用時における費用負担にも対応するような、使い勝手の良い、柔軟な助成金制度の創設があれば活用していきたいと考えています。

課題は取組に応じて様々に出てきますが、従業員も交えながら都度改善していくことで、取り組み自体のみならず、その経緯においても社員の成長やノウハウの習得につながると考えています。もし、方法が間違っていれば、素早く方向転換できるのが中小企業の強みでもあり、越えるべき課題は都度改善し、ノウハウを習得していくことで自己研鑽にも繋げていきたいです。